

“ゲートキーパー養成講座” 佐賀ビッグフット ＝多様なコミュニケーションスキルの習得＝

(実施期間) 平成 25 年度

(基金事業メニュー) 人材養成事業

(実施経費) 368 千円 (340 千円)

(実施主体) 佐賀ビッグフット (民間団体)

【事業の背景・必要性・目的】

自死遺族支援の現場において「どうしていればその気持ち（自殺したいと考えるほど追い込まれた状態）を聞いてあげられたのか」と思い悩む声が多く聞かれたことから、多様なコミュニケーションスキルをもった人材の育成が必要と考え、それに主眼においたゲートキーパーの養成を行うこととした。

なお、ゲートキーパーの養成にあたっては、コミュニケーションスキルの習得や相談実例を元にした具体的な支援方法を学ぶとともに、自死遺族の支援（分かち合いの会の運営）を行うファシリテーターの養成も併せて行う。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

佐賀県の自殺者数は、平成 11 年以降 200 人を超える状況が続いていたが、平成 16 年の 280 人をピークに減少傾向にあり、平成 25 年は 182 人と 15 年ぶりに 200 人を下回った。

年代別では、中高年男性の比率が高く年々減少傾向にあるものの、若年層については横ばいであり、対策の強化が必要である。

また、地域的には県北部地区の占める割合が例年高い傾向にあったが、近年は東部地区の比較的若い世代の自殺者が増加傾向にある。

【事業目標 事業内容】

《多様なコミュニケーションスキルをもったゲートキーパーの養成》

◆自殺の実態を学ぶ（机上教育）

全国・佐賀県の自殺の現状、自殺の危機経路、自殺の地域特性、自殺対策、自殺対策基本法

◆ゲートキーパーとは（机上教育・ロールプレイ）

役割（自身に関わる範囲の把握）、心得（心の準備）、ロールプレイによる支援の実践
傾聴姿勢、強い感情（死にたいなど）を打ち明けられた時の対処

◆多様なコミュニケーションスキルの習得

①エッセンシャルオイルを用いたタッチング（アロマセラピー）によるコミュニケーションスキルを学ぶ。

※声掛け（言葉）だけでは会話が續かない、沈黙の時間を安心して共有できないか、安心して話ができるという雰囲気をつくれぬか等の意見を受け、研修項目として取り入れた。

※支援対象者に対し、タッチングによるリラックス効果が認められるとともに、心地よいと感じる香り（エッセンシャルオイル）は身体の生理機能を調整する効果もある。（睡眠など）

3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する⑥

- ②人の話を聞く「ファシリテートスキル（話す手助けをする、主導権を奪わない）」を学ぶ。
※支援対象者に対する傾聴姿勢や自死遺族分かち合いの会の運営手法（ファシリテーター）

◆開催日

平成 26 年 1 月 19 日（日）

平成 26 年 2 月 9 日（日）

平成 26 年 3 月 9 日（日） ※3 回連続講座／10 時～16 時

【事業実施にあたっての運営体制】

- ・佐賀ビッグフット会員による運営（3 名：代表、副代表、事務局長） ※外部講師 2 名

【事業の工夫点】

- ・養成講座が 3 日間（月 1 回）終日開催で一つのプログラムとなっており、参加者の継続参加に不安があったことから、各項目にバリエーションをつけるため、外部講師による指導やロールプレイの導入、参加者間のコミュニケーションなど、参加者を飽きさせない工夫を行った。
- ・ゲートキーパー養成講座の開催を周知するため、市報やタウン情報誌への広告を行った。
（市報を見て参加を決めた方が多く、行政情報での紹介は効果的である）

【事業成果、今後の課題、その他特筆すべき点】

- ・多様なコミュニケーションスキルの習得を主眼において養成講座を進めてきたことから、参加者から「コミュニケーションスキル（アロマセラピー）を入り口として会話ができる」「対話を必要としないコミュニケーションスキルがあることで、沈黙の時間を安心して共有することができる」との声が聞かれ、高評価であった。
また、家族間での実践を要請した結果「夫婦・親子間の対話が増えた」「相手にふれるだけ（ふれられただけ）で穏やかな気持ちになった」などの声も聞かれ、コミュニケーションツールとしての評価は高いと思われる。
- ・現プログラム並びに運営体制では、参加者が少人数（15 名以下）となるため、ゲートキーパー拡大のためには、養成講座日程の短縮（効率・効果的運営）や運営体制の強化などが今後の課題である。

（問合せ先） 佐賀県 障害福祉課

TEL： 0952-25-7064

E-mail：shougai.fukushi@saga.lg.jp

URL：http://www.pref.saga.lg.jp/web/